

▼解答が終わってから記入しましょう。	学年 1・2・3・卒など	レベルアップ演習	
	解答時間 分		
	志望校 大学		に取り組もう。
あなたの感想欄や答案を、解答解説編・Z会MyPage等で紹介してもよろしいでしょうか？どちらかを○で囲んでください。(はい・いいえ)		添削者名	

▲この点線の枠内は何も記入しないこと。

8
10/12

問一 a

ア

イ

ケ

キ

ア

オ

エ

ア

イ

ア

イ

ア

解説を読んで、活用の種類を見分ける方法を確認しておこう。

9
2/6

問二 A

ありがたき

いたづらに

「いたづらなり」は「役に立たない・無駄だ」などの意。文脈に合わない。

なやむ

「なやむ」は「苦しむ・難儀する」の意。文脈に合わない。

選択肢の語はいずれも重要古語。文脈を踏まえてどういった内容がふさわしいかを考えよう。空欄直後にも注目し、適切な活用形を当てはめること。

10
9/10

問三

普通の人の3倍以上であった。

「まさり(まさる)」「を」(他と比較して優れている)という意に訳出しよう。

4/5

「も」はそのまま「も」としよう。注

5/5

まったく装束を汚さない。

11
6/12

問四

早業を好むのは、雨の日に一人で裾と簾を持ち衣服を傷つけず牛車に乗るため

「宮中に参上する」点も明示する。

単に装束を傷めないことだけでなく、「奉公第一の用なり」という帝を納得させた返答のポイントを押さえよう。

成通の返答のうち、院を納得させた最大のポイントを押さえよう。登場人物が知恵と機転で難題を解決する話を読解する際には、どこに解決のポイントがあったかを読み取るのが重要になる。

12
4/5

問五

凡夫

成通が鞍を足に乗せたまま、宙返りをして建物の外に出たという行為を指して「Xではなかった」と言っているのだから、普通の人のできることではないという意味になるようにしたい。

13
5/5

問六

おほかたこ

説話ではこの文章のように人物の特徴をまず述べてから、その特徴を表すエピソードを並べていく構成がとられることが多いので、覚えておこう。